2026年度

京都大学大学院薬学研究科博士課程(4年制)学生募集入学試験問題(専門科目)

【薬理ゲノミクス・ゲノム創薬科学】

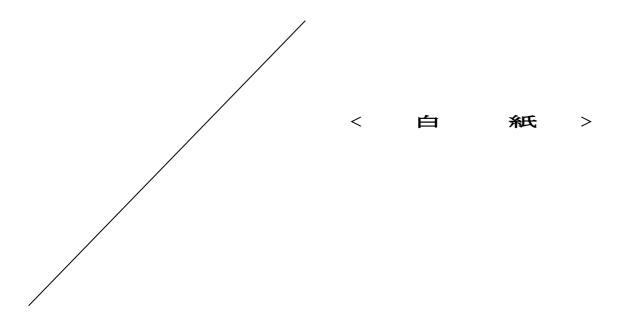
*整理番号

[注意事項]

- 1. この問題冊子は、「解答を始めなさい。」の指示があるまで開いてはならない。
- 2. 指示があれば直ちに、問題冊子の枚数(表紙、白紙を含めて4枚)を確認し、表紙に受験番号(1ヶ所)及び氏名を記入すること。(「整理番号」欄は記入しないこと。)
- 3. この問題冊子は、切り離してはならない。
- 4. 裏面を解答用に使用してもよいが、表紙の「きりとり線」より下部には、記入しないこと。
- 5. 専門科目の配点は、200点とする。

き	り	と	ŋ	線			

受験番号	氏 名	
------	-----	--



2026年度

0	ージ (1)
	*整理番号

【薬理ゲノミクス・ゲノム創薬科学】

以下の問に答えなさい。解答は解答欄に記入すること。必要に応じて図を用いて説明してもよい。

問 1		
Gタンパク質共役型受容体に対する	inverse agonistとbiased	ligandについてそれぞれ説明しなさい。

Inverse agonist

Biased ligand	
GSEA (Gene set enrichment analysis)について、発現プロファイルを例に説明しなさい。	

2026年度

°	ージ (2)
	*整理番号

【薬理ゲノミクス・ゲノム創薬科学】

問 3	問	3	
H	11-1	•	

生体内の代謝物質	[Aを認言	識する未知のGタ	ンパク質共役型受容体Xを同定したい。	そのための研究計画を複数の段階に分けて簡潔
に説明しなさい。	また、	各段階の実験、	解析手法の特長と潜在的な問題点につい	いて論じなさい。